

**鯖江市地域公共交通計画および鯖江市地域公共交通利便増進実施計画
策定事業者選定プロポーザル審査会 結果**

◇会議概要

○開催日時：令和7年12月1日（月）9：30 ～ 11：30

○出席者：委員全員出席
事務局

○会議次第

1. 開会

2. 議事

（1）事前打合せ（9：30～10：00）

- ・ 概要説明
- ・ 審査の進め方について
- ・ 評価の方法について

（2）審査会（10：00～11：30）

- ・ 2社

○審査結果

最優秀提案者は「**㈱日本海コンサルタント**」

契約金額：12,573千円

No.	評価項目	審査項目	日本海 コンサルタント	㈱
1	実施体制 業務実施の確実性 【10点】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な人員・執行体制が整っているか ・ 各従事者の主要業務の経歴等は業務を遂行する上で適切であるか ・ 過去に類似の業務で良好な実績を上げているか 		
2	提案内容の的確性 【20点】	・ 本市の公共交通、コミュニティバス等の課題、本業務等の目的を把握、理解しているか		
3	提案内容の独自性 【20点】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独自の提案、効果的な手法が提案されているか ・ 鯖江市の特徴（特性）をふまえた提案がされているか 		
4	提案内容の実現性 【20点】	・ 適正なスケジュールや業務フローが構築され、提案内容に実現性があるか		
5	総合判断 【10点】	・ 本事業に対する理解度や熱意等を総合的に判断		
6	金額点 【20点】	（最低提案額/提案額）×20		
合 計			381/500	

(1) 計画の背景・目的

- 鯖江市では、令和6年3月16日の北陸新幹線敦賀延伸を見据え、令和3年12月に「鯖江市地域公共交通計画」を策定し、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線等によって構成される幹線交通網の変化に対応するとともに、コミュニティバス「つつじバス」を中心とする二次交通網の再編や利用環境の向上に取り組んでまいりました。
- しかしながら、人口減少・少子高齢化の更なる進行により、高齢者や学生等の移動手段の確保がより一層重要となっている一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による移動の減少や外出控えにより公共交通利用者数は大きく減少し、その後も利用者数は感染拡大前の水準まで回復していない状況が続いています。加えて、運転者不足や経営環境の悪化など、地域公共交通の持続可能性に関する課題が顕在化しています。
- また、デジタル技術の進展やライフスタイルの多様化、カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷の低減など、公共交通を取り巻く社会環境は大きく変化しており、これらの変化に対応した新たな取組が求められています。
- さらに、北陸新幹線敦賀延伸後の広域交通体系の変化を踏まえ、市民の日常生活における移動手段の確保はもとより、観光やビジネス等で本市を訪れる人々への二次交通としての機能強化も重要な課題となっています。
- このような状況を踏まえ、本市では現行計画の取組成果と課題を検証し、より実効性の高い施策を推進するため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、「**(仮称)第3次 鯖江市地域公共交通計画**」を策定することとしました。
- 本計画では、つつじバスを中心とした公共交通に加えて、地域の多様な輸送資源を総動員することによって持続可能な移動サービスを確保するとともに、デジタル技術の活用や環境負荷の低減、まちづくりとの連携を図りながら、誰もが移動しやすく、将来にわたり持続可能な地域公共交通体系の実現を目指します。

【地域公共交通計画における章立てのイメージ】

1 鯖江市をとりまく現況

- 鯖江市の人口分布・移動実態
- 上位関連計画

2 公共交通の現状と市民の移動実態分析

- 各公共交通のサービスレベル（運行本数・運賃等）
- 各公共交通の利用状況推移
- 公共交通利用者の評価と要望（利用者実態調査）
- 住民の交通ニーズと利用意向（パーソントリップ）

3 鯖江市の交通課題

- 鯖江市の課題
- 地域・路線別課題

4 鯖江市の交通が目指す姿と目標

- ハブ+ネットワークの将来図、基本理念
- 基本方針
- 目標指標

5 目標を達成するための事業・実施主体等

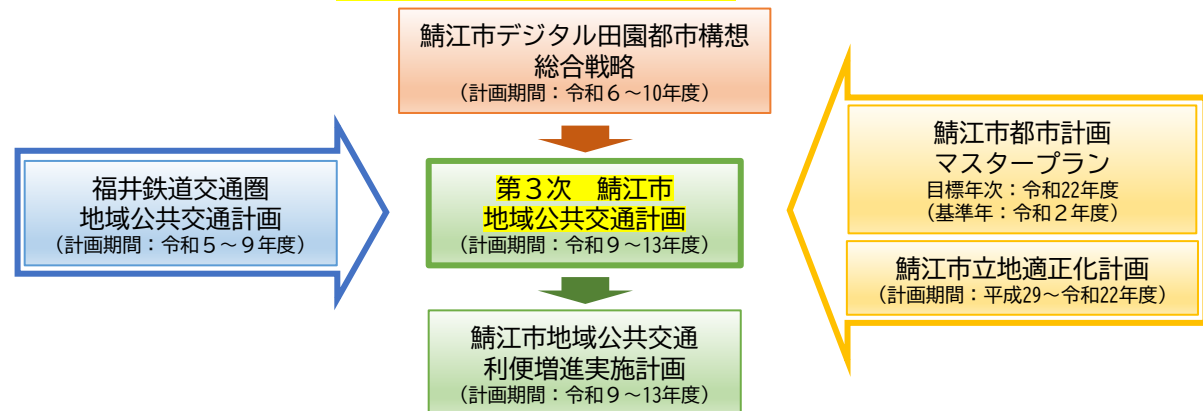
6 計画の達成状況のモニタリング指標

(2) 計画期間と対象区域

計画期間 : 5年間（令和9年度～令和13年度）

対象区域 : 鯖江市全域

【第3次 鯖江市地域公共交通計画の位置づけ】



鯖江市地域公共交通活性化協議会

計画策定に向けた調査等

令和7年度

令和7年度 第4回（令和7年12月25日）

- 計画の概要
- アンケート（案）について
- スケジュール

令和7年度 第5回（令和8年3月頃）

- 現況調査結果の報告

令和8年度

令和8年度 第1回（令和8年6月頃）

- アンケート調査結果等の報告
- 課題の整理
- 計画素案について

令和8年度 第2回（令和8年9月頃）

- 計画案について

令和8年度 第3回（令和8年12月頃）

- パブリックコメントの報告
- 計画認定申請の合意

現況把握・上位関連計画の整理（令和8年1～3月頃）
市民意向アンケート調査（令和8年2月頃）

利用者実態調査（令和8年3月～4月頃）
計画素案の作成（令和8年4月～6月頃）

計画案の作成（令和8年6月～9月頃）

パブリックコメント（令和8年10月頃）

地域公共交通計画等の策定（令和9年1月）

アンケート調査(案)について

①市民意向調査

鯖江市内 15 歳以上の 2, 000 人を対象にアンケート実施(郵送(Web 回答也可))

地区ごとの人口比で配布枚数を決定し、無作為に抽出

【アンケート内容】

調査項目	設問内容の概要	設問目的および分析・活用方法
I. 日常生活の移動(買物、通院、その他)	<ul style="list-style-type: none"> 平日 1 日の移動特性の把握(移動先、移動目的、利用交通手段、出発時間、到着時間) 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の移動実態の把握
II. 公共交通の利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> 利用頻度、主な利用駅／停留所 公共交通の満足度・改善点 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の全体的な利用頻度、満足度、改善点の把握 改善点については、運行サービスの改善の必要性を地域別に整理 今後のフォローアップ調査で、利用頻度や満足度が上昇したかどうかの確認への利用も想定
III. 公共交通への利用転換について	<ul style="list-style-type: none"> 改善された場合の今後の公共交通の利用意向 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性が向上した場合の行動変容の期待
	<ul style="list-style-type: none"> マイカーの利用を控えることに対する考え 	<ul style="list-style-type: none"> マイカーの利用に対する問題意識の有無や、将来的な公共交通への転換意向について把握
	<ul style="list-style-type: none"> マイカーの継続意向 	
IV. 鯖江市の地域公共交通のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の存続/利用意向/運行経費 	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の存続、費用負担に関する住民意向を把握
V. 個人属性	<ul style="list-style-type: none"> 郵便番号／性別／年齢／免許の有無／家庭における自動車の有無 	<ul style="list-style-type: none"> その他の設問における、個人属性ごとのクロス集計分析等に活用(郵便番号は地域別の分析に必要)
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に対する自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> 上記設問内以外の要望等の把握と市民の「生の声」の収集

②つつじバス利用者実態調査

平日と休日の 1 日ずつ全線の乗込み調査を実施。

【アンケート内容】

設問	設問内容	結果の活用方法
(Q0)	<ul style="list-style-type: none"> 利用機関、乗車時刻、乗降停留所、利用券種(調査員による記入を基本) 	<ul style="list-style-type: none"> 便別乗降数、OD、通過人員の集計
Q1	<ul style="list-style-type: none"> 個人属性(性別、年代、住所等) 	<ul style="list-style-type: none"> クロス集計の集計項目として使用
Q2	<ul style="list-style-type: none"> 利用目的・行き先 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の具体的な目的と目的施設
Q3	<ul style="list-style-type: none"> 他の公共交通への乗換状況 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道とバス、バス同士の乗換需要の把握(ルート間のダイヤ接続の必要性を検討)
Q4、Q5	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用頻度・満足度 	<ul style="list-style-type: none"> モード毎の利用頻度や満足度の差異、改善要望の差異があるかを分析
Q6	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の改善すべき項目・改善後の利用意向 	<ul style="list-style-type: none"> 改善要望や改善後の利用意向を把握し、モード毎の状況を整理
Q7	<ul style="list-style-type: none"> 自由意見 	

③ハピラインふくい線・福井鉄道福武線実態調査
平日と休日の1日ずつ下記駅にて、配布調査を実施

路線名	駅名
ハピラインふくい線	鯖江駅
	北鯖江駅
福井鉄道 福武線	神明駅
	西鯖江駅
	水落駅

設問	設問内容	結果の活用方法
(Q0)	・利用機関、乗車時刻、乗降停留所、利用券種(調査員による記入を基本)	・便別乗降数、OD、通過人員の集計
Q1	・個人属性(性別、年代、住所等)	・クロス集計の集計項目として使用
Q2	・利用目的・行き先	・利用者の具体的な目的と目的施設
Q3	・他の公共交通への乗換状況	・鉄道とバス、バス同士の乗換需要の把握(ルート間のダイヤ接続の必要性を検討)
Q4、Q5	・公共交通の利用頻度・満足度	・モード毎の利用頻度や満足度の差異、改善要望の差異があるかを分析
Q6	・鉄道の必要性	・鉄道の需要を把握
Q7	・公共交通の改善すべき項目・改善後の利用意向	・改善要望や改善後の利用意向を把握し、モード毎の状況を整理
Q8	・自由意見	

アンケート調査

①市民意向調査 15歳以上の2,000人を対象に郵送アンケート調査（Web回答も可）

- ・属性情報
- ・公共交通利用頻度
- ・タクシーを利用しない理由
- ・公共交通の満足度
- ・鉄道改善点
- ・バス改善点（キャッシュレス導入等）
- ・改善後の利用期待値
- ・マイカー利用についての問題意識の有無
- ・公共交通の存続・費用負担について（鉄道・バス等への負担金について）
- ・バス料金について

②つつじバス利用者実態調査

平日と休日1日ずつ 全線に乗込み利用者へのアンケート調査を実施

- ・利用者の属性情報の取得
- ・満足度調査
- ・改善点（キャッシュレス導入）
- ・利用目的・行き先

③ハピラインふくい線、福井鉄道福武線実態調査

平日と休日1日ずつ ハピラインふくい線と福井鉄道福武線の駅にて配布調査を実施

- ・利用者の属性情報の取得
- ・満足度調査
- ・交通手段の存続について
- ・改善点
- ・利用目的・行き先

④高校生へのWebアンケート調査（案）

市内外の高校生を対象にWebアンケートを実施。

- ・通学方法
- ・属性（住所）
- ・乗る・乗らない理由
- ・認知度
- ・周辺まちづくりに関すること